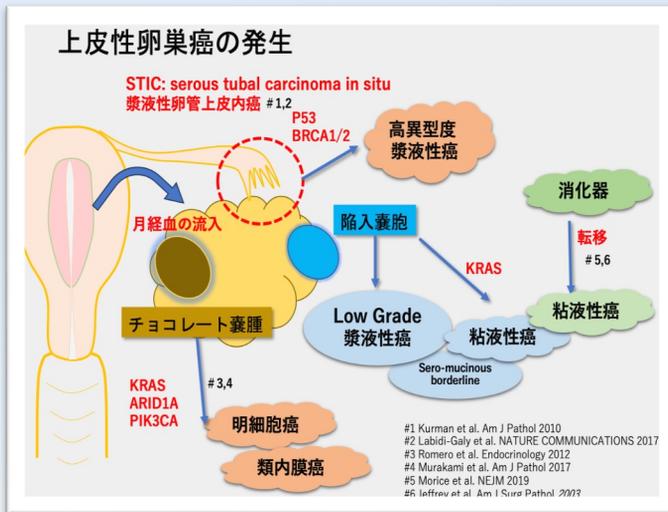


# 順天堂大学練馬病院外科だより

## 産科・婦人科：上皮性卵巣癌は卵管や子宮内膜が起源！



次世代シーケンサの登場により様々な病気が解明されてきました。卵巣癌で多い組織型である**高異型度漿液性癌**は卵管上皮にp53腫瘍抑制因子の変異によってSTIC(漿液性卵管上皮内癌)となり、更に数ヒットの変異の蓄積により卵巣、大網、腹腔内に広がっていくことが解りました。一方、**明細胞癌**や**類内膜癌**は、既にARID1AやPIK3CA等の発癌遺伝子変異をもった子宮内膜が月経血の逆流によって子宮内膜症性嚢胞(チョコレート嚢腫)から発生することも証明されました。**卵巣粘液性癌**の発生数は少ないものの、半数以上が虫垂、結腸、膵臓からの転移性によることが報告されています。

上皮性卵巣癌の多くは卵巣そのものが起源ではなく、子宮内膜や卵管のミューラー管由来である事が解ってきました。卵巣癌の半数以上が発見時には腹水貯留、癌性腹膜炎であることも頷けます。

診療機器の進歩と化学療法の発展によって、低侵襲かつ高度医療を安心・安全・確実に提供することが可能となりました。沢山の患者さまのご紹介をお待ちしております。

産科婦人科 教授・診療科長 荻島大貴

## 呼吸器外科：進行性線維化を伴う間質性肺疾患(PF-ILD)

**間質性肺疾患**、例えば特発性肺線維症、膠原病肺、塵肺、過敏性肺臓炎、好酸球性肺炎・など分類が多岐にわたり診断もMDD(他分野集学的検討)が望ましいとされ難解なイメージを持つ方が多いのではないのでしょうか？我々も肺癌症例を通じて間質性炎合併症例をしばしば経験しますが、周術期管理を軸に診療をおこなっております。**PF-ILDは原疾患に関わらず進行性の線維化(2年で10%のFVC減少, 画像所見・症状の増悪など)を認める病態**で、抗線維化薬の投与を考慮しようという概念です。胸部XP所見の変化(間質陰影、肺容積)は比較読影すれば診断は容易です。当科では生検も行っており呼吸器内科と連携し間質性肺炎に対する診断加療を行っています。呼吸苦を主訴にPF-ILDを疑う症例がございましたら遠慮なくご紹介ください。

呼吸器外科 診療科長 阪野孝充

### 塵肺によるPF-ILDの一例

